

## 「JIS A 6301(吸音材料)認証品」 使用上の注意事項

### 1. 吸音材料の種類及び材料・形状

製品名	JIS A 6301 による種類 (種類の記号)	材料・形状	区分
MG ボード	ロックウール	ロックウールを板状に成形したもの	多孔質 吸音 材料
NUMG フェルト	吸音ボード(RW-B)		
MG ハッスイボード			
MG ラスボード	ロックウール	ロックウールのボードを金網状の外被材で補強したもの	
MG ワイヤード ブランケット	吸音ブランケット(RW-BL)		
NUMG ワイヤード ブランケット			
MG マイティロール	ロックウール	ロックウールを弾力のあるフェルト状に成形したもの	
フェルト N	吸音フェルト(RW-F)		
フェルト NR			
フェルト A			
フェルト AG			

### 2. 他の材料との組み合わせによる吸音率

データなし

### 3. 吸音機構 ※JIS A 6301:2020 吸音材料 付属書 B より抜粋

影響要素	吸音効果
厚さ	吸音率は一般に周波数の増加とともに大きくなり、ある周波数でほぼ一定値に達します。さらに、厚さの増加に伴って中低音域の吸音率が大きくなります。このことから、中低音域において必要とする吸音率の値に応じて材料の厚さを選定するのが基本的な方法です。
密度	一般に密度が大きくなるほど吸音率も大きくなる傾向がみられます。但し、密度がある程度以上大きくなると低音域は高くなりますが、高音域の吸音率が低下する傾向があります。 単位面積当たりの材料の重量が一定の場合、一般には厚さの大きい方が吸音率も大きくなると考えられます。
背後空気層	背後空気層の厚さを増すことによって、低音域までの広い周波数範囲にわたる吸音率を大きくすることができます。

4. 施工条件 ※JIS A 6301:2020 吸音材料 付属書 B より抜粋

吸音材料の吸音特性は、その材料・構造の物理的特性のほかに施工条件によって異なるため、実際の設計に用いる場合には、使用条件に応じた吸音率の測定結果を使用することが必要です。

5. 交換・点検及び手入れ

施工後、設置個所から落下しないよう固定した部分の確認を行って下さい。

6. 保管方法

水濡れに注意し、常温常湿の屋内保管として下さい。

7. その他必要な事項

特になし

以上